

即効性と継続性のある

女性・若手研究者の

活躍推進に向かって

飛躍的な女性上位職登用に挑む

文部科学省科学技術人材育成費補助事業

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ[女性リーダー育成型]

2022・2023年度 事業報告書

事業期間 2022—2027

目次

ご挨拶……………004

代表機関

総括責任者 **弦間 昭彦** 日本医科大学 学長

実施責任者 **土佐 眞美子** 学校法人日本医科大学しあわせキャリア支援センター センター長

共同実施機関

総括責任者 **鈴木 浩悦** 日本獣医生命科学大学 学長

実施責任者 **植木 美希** 日本獣医生命科学大学ダイバーシティ推進委員会 委員長

1

章

事業概要……………006

はじめに—これまでの取組からつながるダイバーシティ研究環境の実現に向けて—	007
目標と行動計画	008
事業の実施体制	010
2022・2023年度の事業計画	012

2

章

2022・2023年度の取組と成果……………013

1—総括	014
2—ダイバーシティ研究環境整備のための取組	
01 医 獣 5年後キャリアサポート制度	016
02 医 女性・若手研究者のキャリアフォローシステム	018
03 医 大学院女性フェロースHIP制度	018
04 医 育休等のライフイベントからの円滑な復帰と活躍の推進	019
05 医 獣 女性リーダー育成型キックオフシンポジウム開催	020
06 医 獣 イクボス推進の取組	022
07 医 西ゆり子氏講演会 & ワークショップ開催	024
08 獣 学長と女性研究者の意見交換会開催	025

09	獣	三鷹ネットワーク大学での企画講座実施	026
10	医 獣	情報発信ー1.本事業の紹介動画とリーフレット制作	027
11	医 獣	情報発信ー2.本事業のウェブサイト運用(牽引型と共同)	028
12	医 獣	情報発信ー3.本事業のNewsletter発行(牽引型と共同)	029
13	獣	情報発信ー4.本事業の啓発ポスター作成	030
3—女性・若手研究者の研究力向上のための取組とそれを通じたリーダー育成のための取組			
01	医 獣	グローバル人材の育成	031
02	医	研究スキルアップ支援	033
03	獣	飛躍的共同研究費助成制度	035
04	獣	飛躍的研究支援員配置制度	036
05	獣	女性リーダー育成セミナー	037
4—女性研究者の上位職への積極登用に向けた取組			
01	医 獣	優秀な女性研究者への研究費支援	038
02	医 獣	ポストアップ教授・ポストアップ准教授	040
03	医	教授(教育担当)ポスト新設	041
04	医 獣	リーダー育成プログラム(研修、共同研究促進、女性研究費公募)	042
5—目標達成に必要な支援体制の整備			
01	医	アドバイザーの活用	043
02	医	専任URAの育成	044

3 章

参考資料 045

One Health実行委員会	046
ダイバーシティ推進委員会	048
飛躍的上位職登用プロジェクトチームミーティング	051
学校法人日本医科大学におけるダイバーシティ研究環境実現のあゆみ	054
2022・2023年度 事業取組実施表	056

ご挨拶

ポジティブアクションを講じて実現する、 女性・若手研究者のキャリア支援と 女性リーダー育成



弦間 昭彦

日本医科大学
学長

近年、医学研究は、速度を上げて進歩しており、モチベーションの高い研究者を育成し、しっかりと研究できる環境を提供することが重要と考えます。日本医科大学では、多様な研究者が集う環境づくりを進めています。特に、女性のキャリア形成が重要であります、日本

では、未だ、育児などのライフイベントに対して女性が中心となり対応する機会が多く、男女一律な評価は公平とはいえない状況といえます。そのため現状では、必要なポジティブアクションをしっかりと行うことが大切と考えます。限られた研究環境と資源を考慮すると、モチベーションの高い方、実績を残しつつある方に効率的に利用いただく仕組みが重要と思います。

本学には、2019年度には6%台であった女性教授比率を2021年度には12%台とした実績があります。今回の女性リーダー育成型の採択を受け、さらにペースを速めて女性研究者の活躍できる環境づくりを推進しています。「ポストアップ教授」、「教育担当教授」の制度を整備し、実績を上げている女性研究者の上位職登用を前倒しで実現、サステナブルな女性上位職登用に向け、「5年後キャリアサポート制度」、「海外研修の助成」など、これまでにない新しい細やかな取組を進めております。

本学の変革にご期待を頂き、連携機関・協力機関の皆様におかれましては、一層のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ダイバーシティ研究環境の実現に向けて —これまで、そしてこれから—



土佐 眞美子

学校法人日本医科大学
しあわせキャリア支援
センター センター長

2019年度の牽引型採択以降、私たちはダイバーシティ研究環境の実現に向けて挑戦を続けています。厳しくも積極的な数値目標は、学長主導のポジティブアクションにより達成され、それを後押しするための支援制度の拡充と組織全体の意識醸成を進めて参りました。

その中で特に大切にしてきたのは、女性・若手研究者、管理職それぞれが求めることを理解する姿勢です。大小さまざまな調査、実施した取組・支援の反応、個別のヒアリングなどから得られた意見を受け止め分析し、次のアクションへ反映する。この過程が、一人ひとり、そして組織全体を変える一助を担うと考えます。2022年度から始まった女性リーダー育成型の取組においても、この姿勢を保ち、一人ひとりのビジョンと組織全体の目標がともに達成されることを目指しています。また、女性活躍においては、これまで注力してきた組織の意識改革、働く環境の改善とともに、女性研究者本人の意識変革が重要とされています。女性リーダー育成型では、女性研究者がより自律的に自らの成長に向け行動できるような支援を実施し、この2年間でその成果を実感しています。

多くの皆様のご支援・ご協力によって、着実に取組を展開できましたこと、心より、感謝申し上げます。

引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

本プロジェクトの推進による 教育理念の実現



鈴木 浩悦

日本獣医生命科学大学
学長

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ〔女性リーダー育成型〕は、清水前学長が進めてこられた〔牽引型〕の成果を引き継ぎ、それらが有機的に組み合わせることによって、本学の研究・教育全般への女性教員の参画を大いに加速することが期待されます。

本学では、獣医保健看護学科において90%以上が女子学生であり、他学科でも女子学生の割合が増えています。実際に、獣医学系大学ではどこでも、女子学生の割合が多いのに対して、女性教員および女性管理職の割合が少ないことが問題となっています。しかし、業界全体で人材が不足しており、どの大学でも根本的な解決策は見いだせていません。これを打開するためには、女性研究者を育成し、教員から管理職まで導く、より積極的なアプローチが必要です。

この2年間においては、まずは女性教員との意見交換会を通じ、牽引型の支援の成果を確認すると共に要望を聴取し、育成型による支援の運用に繋がりました。また、特任教授に女性教員を任命し、来年度に向けて女性の教授と助教を採用しました。本学は、互いに多様性を認め合い協調する「敬讓相和」という学是のもと、「愛と科学の心を有する質の高い獣医師と専門職および研究者の育成」を教育理念として掲げています。この教育理念を実現するためにも、本プロジェクトの推進と目標の達成に尽力していきます。

社会貢献できる女性リーダーの 育成を目指して



植木 美希

日本獣医生命科学大学
ダイバーシティ推進
委員会 委員長

2019年に採擧されたダイバーシティ研究環境実現イニシアティブでの実績が認められ、2022年度から新たなダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）事業に代表機関日本医科大学とともに選定されました。大変嬉しく名誉なことであるとともに日本

社会の大きな課題である女性リーダーを育成するという社会的使命に大きな期待と責任も感じております。女性リーダー育成型の具体的なプロジェクトとしては、若手の研究者に高度な研究支援員を配置することや女性教員を研究代表者とした産学連携の共同研究費、研究助成費の創設を行いました。また飛躍的女性上位職登用プロジェクトチームを結成し、そこでは本学で必要とされる女性上位職についての議論を重ね、学内で共有し、1日も早い女性教授比率25%、准教授30%以上を目指します。そのためには女性教員の努力だけではなく、学長のリーダーシップのもと、これまで以上に全教員がダイバーシティ・エクイティ&インクルーシブな精神をもち本事業への理解と協力が必要となります。一人ひとりの研究者の考えやワークライフバランスを大切にしながらも、研究力がありリーダーとしても活躍できる新しい研究者の育成を目指して努力する所存です。

1章

事業概要

はじめに

これまでの取組からつながる ダイバーシティ研究環境の実現に向けて

日本医科大学と日本獣医生命科学大学では、学校法人日本医科大学の掲げる「One Health いのちのつながり」の理念のもと、人、動物、環境に関わる研究者を支援し、医学・生命科学の推進を確実に実行し、次世代を担う女性・若手研究者育成支援を積極的に推進しています。

2019年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」の採択により、この取組は一層進み、ダイバーシティ研究環境の整備と組織内での意識醸成という大きな成果をあげ、2019年から2021年には女性教授職比率を、日本医科大学は6.9%→12.4%、日本獣医生命科学大学は14.9%→15.9%へと増加させてきました。

牽引型での成果を背景に、この流れをさらに加速して、ダイバーシティ研究推進環境を実現するため、2022年に同事業「女性リーダー育成型」に申請し採択を受けました。「女性リーダー育成型」ではさらなる女性の活躍と、女性・若手研究者育成の支援によって、女性リーダー育成を図ります。

本事業では「飛躍的な女性上位職登用」と「女性・若手研究者育成」への取組を両輪に、即効性と継続性のある女性・若手研究者の活躍推進を実現します。

文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ

女性研究者がその能力を最大限発揮できるよう、研究とライフイベントの両立や、女性研究者の研究力向上を通じたリーダーの育成を一体的に推進し、研究環境のダイバーシティ実現に向けて、優れた取組を実施する大学などを重点的に国が支援するものです。

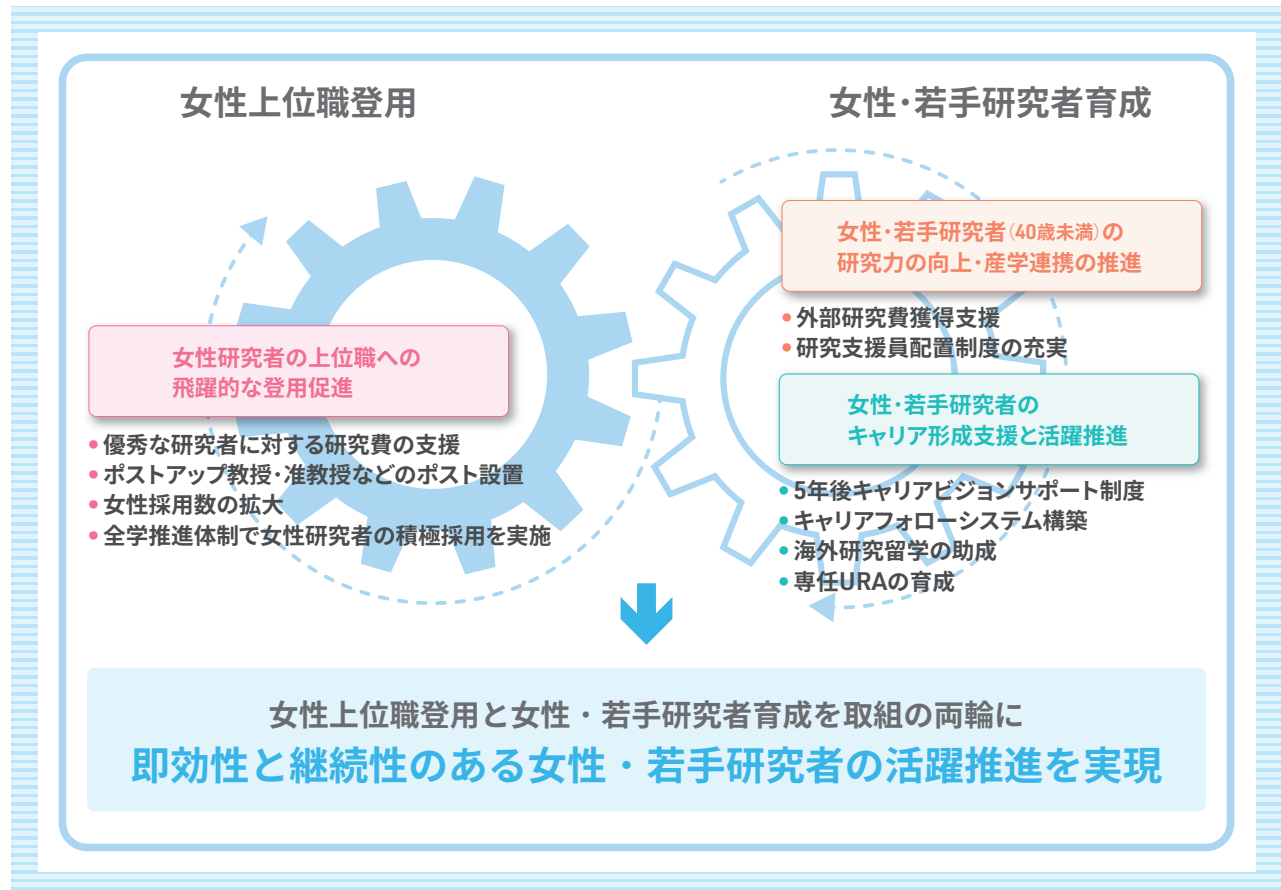
目標と行動計画

目標

- 1：女性研究者の上位職への飛躍的な登用促進
- 2：女性および若手研究者（40歳未満）の研究力の向上・産学連携の推進
- 3：女性および若手研究者のキャリア形成促進と活躍推進

行動計画

「女性リーダー育成型」では、「飛躍的な女性上位職登用」と「女性・若手研究者育成」との二つを両輪とした即効性と継続性のある女性・若手研究者の活躍推進を実現します。上位職登用は、挑戦的・野心的な数値目標の達成に向け総力を挙げて推進します。そしてサステナブルな女性上位職率を実現するため、早期から若手・女性研究者に向け研究力とキャリア形成に関わる多彩でシームレスな支援を展開します。これらは両大学に設置する「飛躍的上位職登用プロジェクトチーム」と「女性・若手研究者育成プロジェクトチーム」が担当します。



▶全体目標と行動計画

事業目標	日本医科大学 (代表機関)	日本獣医生命科学大学 (共同実施機関)
女性教授職比率	2022年度 12.4% ↓ 2027年度 25.3%	2022年度 13.3% ↓ 2027年度 26.0%
女性准教授職比率	2022年度 16.5% ↓ 2027年度 30.1%	2022年度 19.4% ↓ 2027年度 31.8%
女性研究者在職比率	2022年度 28.0% ↓ 2027年度 30.3%	2022年度 23.3% ↓ 2027年度 28.6%

▶数値目標

事業の実施体制

日本医科大学および日本獣医生命科学大学にはそれぞれ「ダイバーシティ推進委員会」が設置されており、各大学におけるダイバーシティの取組の意思決定を行います。さらに両大学が連携して取組を実践するための「One Health 実行委員会」が設置されています。これらの委員会とあわせキャリア支援センターは密に連携し、ダイバーシティ研究環境の実現を推進しています。

この体制に加えて、「女性リーダー育成型」事業の推進に向け、各大学には『飛躍的女性上位職登用プロジェクトチーム』『女性・若手研究者支援プロジェクトチーム』を新たに設置しました。

飛躍的女性上位職登用プロジェクトチーム

上位職登用の取組は、両大学に設置する「飛躍的女性上位職登用プロジェクトチーム」が担当します。学長、研究部長、大学院医学研究科長、教員選考委員会委員長、学長による推薦者などにより構成され、上位職登用候補者をリストアップし登用を促進します。上位職に登用された研究者には継続的に活躍に必要な支援を行い、女性研究者がリーダーとして独立して研究できる環境を整備します。

女性・若手研究者支援プロジェクトチーム

女性・若手研究者育成の取組は、両大学に設置する「女性・若手研究者支援プロジェクトチーム」が担当します。海外研究留学、研究スキルアップ、研究費獲得に向けた支援などを実施し、産学連携研究の推進と女性・若手研究者の研究力向上を図ります。さらに、5年後キャリアサポートやキャリアフォローシステムにより、早期からのキャリア形成の支援体制を構築し、次世代の上位職を担う人材を長期的に育成します。



▶事業の実施体制

2022・2023年度の事業計画

医 日本医科大学 獣 日本獣医生命科学大学

1—ダイバーシティ研究環境整備のための取組

- | | |
|-----------------------------|-----|
| ① 5年後キャリアサポート制度 | 医 獣 |
| ② 大学院女性フェローシップ制度 | 医 |
| ③ 女性・若手研究者のキャリアフォローシステム | 医 |
| ④ 育休等のライフイベントからの円滑な復帰と活躍の促進 | 医 |
| ⑤ 全学でのダイバーシティ研究環境実現の推進 | 医 獣 |
| ⑥ 情報発信 | 医 獣 |

2—女性・若手研究者の研究力向上のための取組とそれを通じたリーダー育成のための取組

- | | |
|-------------------------------|-----|
| ① グローバル人材の育成 | 医 獣 |
| ② 研究スキルアップ支援 | 医 獣 |
| ③ 獣医・農学（生命科学）領域での産官学連携共同研究の促進 | 獣 |
| ④ 研究支援員配置制度の強化 | 獣 |

3—女性研究者の上位職への積極登用にに向けた取組

- | | |
|--------------------------|-----|
| ① 優秀な女性研究者への研究費の支援 | 医 獣 |
| ② ポストアップ教授、ポストアップ准教授の登用 | 医 獣 |
| ③ 教授（教育担当）ポストの新設（臨床医学分野） | 医 |
| ④ リーダー育成プログラム | 医 獣 |
| ⑤ 共同研究などにおける相互協力の構築 | 獣 |

4—目標達成に必要な支援体制の整備

- | | |
|-------------|---|
| ① アドバイザーの活用 | 医 |
| ② 専任URAの育成 | 医 |

2章

2022・2023年度の 取組と成果

1—総括

2022年秋に女性リーダー育成型の採択通知を受け、まずは日本医科大学、日本獣医生命科学大学にそれぞれ「飛躍的女性上位職登用プロジェクトチーム」を設置しました。そして両大学がそれぞれ機能的な形式で「女性・若手研究者支援プロジェクトチーム」を形成し、目標達成に向けた実施体制を整えました。チームの目的は、女性上位職登用の推進と、次世代の上位職を担う人材のサステナブルな育成を、迅速かつ円滑に推進することです。体制整備と並行して、即効性と継続性のある女性・若手研究者の活躍推進に向けた具体的な支援の制度設計に着手しました。2022年度は上位職候補者のリストアップと研究費支援、本事業についての学内向け情報発信を行い、キャリア形成や研究力向上の支援に向けて検討を行いました。

2023年度、両大学はプロジェクトチームを効果的に運用し、本事業の要となる取組を順次開始しました。両大学に共通する国際学会発表助成制度、日本医科大学はポストアップ教員制度の設置、教授（教育担当）の新設、5年後キャリアサポート制度、女性大学院生フェロシップ制度、女性研究者海外研修助成制度、リーダー育成プログラム、日本獣医生命科学大学は飛躍的共同研究費助成制度、飛躍的研究支援員配置制度、論文投稿費用助成制度などを展開しました。

さらに2023年6月には、両大学の学長が掲げるビジョンを学内外に向け広く発信するため、本事業のキックオフシンポジウムを開催しました。国立研究開発法人 科学技術振興機構プログラム主管の山村氏、東京医科歯科大学教授の宮崎氏など多彩な講師による講演、今後の活躍が期待される女性研究者が登壇するパネルディスカッションなどを行いました。次ページ以降に取組と成果の詳細を報告します。

2022、2023年度の女性教授・准教授の目標値に対する成果は次の通りとなりました。

医 日本医科大学

	女性教授数と 比率	目標	女性准教授数と 比率	目標
2022年度	10/90(人) 11.1%	12.4%	16/131(人) 12.2%	16.5%
2023年度	11/90(人) 12.2%	15.6%	21/132(人) 15.9%	22.1%
2024年 4月1日現在	18/96(人) 18.8%	2024年度目標 20.4%	17/129(人) 13.2%	2024年度目標 26.8%

獣 日本獣医生命科学大学

	女性教授数と 比率	目標	女性准教授数と 比率	目標
2022年度	6/45(人) 13.3%	13.3%	8/38(人) 21.1%	19.4%
2023年度	7/46(人) 15.2%	16.3%	8/39(人) 20.5%	20.0%

日本医科大学では、2023年度には、設置されたポストアップ教員制度で2名の教授（ポストアップ）が任用されました。2024年度にはさらに3名の教授（ポストアップ）と、5名の教授（教育担当）が誕生します。

（日本医科大学の2023年度実績は2024年4月1日現在の数値を記載）

2—ダイバーシティ研究環境整備のための取組

01 5年後キャリアサポート制度

医 日本医科大学

内容

女性研究者が5年後にも医師・研究者として活躍するビジョンを持つことを目的に、5年後のありたい姿を目標として設定し、それに向けた1年ごとの目標も設定してもらう。メンターは定期的なメンタリングを通じ、評価と顕彰を行い、キャリアアップを励まし促進する制度。

取組

- 2023年2月20日 参加者募集
- 2023年5月13日 キックオフミーティング実施
- 2023年6月 5年後のキャリアビジョンと初年度の目標設定
- 2023年10月 初年度の評価実施と2年目の開始
- 2023年11月 評価に基づく研究費支援実施

参加者

日本医科大学に所属する女性研究者 24名

Aグループ 12名

支援 継続的なメンターサポート、情報提供、目標達成度に応じた研究費支援

Bグループ 12名

支援 必要時のメンターサポート、情報提供

2023年度メンター：10名（五十音順）

石渡 明子、眞野 あすか、田嶋 華子、神田 奈緒子、福田 いずみ、土佐 眞美子、柳原 恵子、川端 伊久乃、栗田 智子、角南 英子



▶キックオフミーティングの様子

START

Think and Act on
YOUR CAREER now!

始めます！
5年後キャリアサポート制度

文部科学省科学技術・学術政策課補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアチブ（女性リーダー育成型）

【目的】
当制度は、5年後のキャリアビジョンを設定し、初年度から2年目までの目標を設定し、定期的なメンタリングを通じて、5年後のキャリアビジョンを実現するための支援を行います。

【対象】
当制度の対象となるのは、5年後のキャリアビジョンを設定し、初年度から2年目までの目標を設定し、定期的なメンタリングを通じて、5年後のキャリアビジョンを実現するための支援を行います。

【実施内容】
● 5年後のキャリアビジョンを設定し、初年度から2年目までの目標を設定し、定期的なメンタリングを通じて、5年後のキャリアビジョンを実現するための支援を行います。

● メンターは、ご自身の経験やスキル、よび知識を共有し、キャリアサポートの役割を果たします。

● 5年後のキャリアビジョンを実現するための支援を行います。

* 支援内容は、ご自身の状況や、ご自身のキャリアの発展に必要な領域に応じて異なります。

* 一般の研究者への支援は、研究費以外となります。

対象	日本医科大学に所属する女性研究者（講師まで）、ポストドクター、大学院生のうち、次のいずれかに該当する方 10名程度	
募集人数	1) 研究者を中心に臨床や教育に取り組んでいる方 2) ライフイベントと研究・臨床・教育のいずれかの両立に取り組んでいる方 3) これから研究を始める方 4) 将来のビジョンを考えた方	
令和5年度スケジュール	令和5年5月13日	キックオフミーティング
	令和5年5月17日	メンターとの初回面談
	令和5年10月	中間評価
	令和6年3月	5年後ビジョン・次年度目標の見直し
応募締切	令和5年3月17日（金）	

問合せ しめがねキャリア支援センター app-shien@nims.ac.jp 03-3822-2131(ex5504)

▶参加者公募ポスター

獣 日本獣医生命科学大学

内容

女性・若手研究者が5年後のありたい姿を目標に設定し、それに向けた1年ごとの目標に対して評価の実施と顕彰を行い、キャリアアップを励まし促進する制度。キャリアアップ支援として「5年後キャリアサポート制度」研究支援費制度を創設し、次世代の上位職を担う女性研究者に対し、活躍に必要な研究費を配分、女性研究者の研究の推進および研究力向上を図る。

取組

2022、2023年度研究費支援を実施

対象 日本獣医生命科学大学に所属する女性教員（准教授、講師、助教）

助成額 准教授 20万円、講師・助教 10万円

2022年度支援実績：5名（任命）

藤原 亜紀 獣医学部 獣医学科 獣医放射線学 准教授
江草 愛 応用生命科学部 食品科学科 食品機能化学 准教授
町田 雪乃 獣医学部 獣医学科 獣医病理学 講師
小野沢 栄里 獣医学部 獣医保健看護学科 保健看護学臨床部門 講師
黄 美貴 獣医学部 獣医学科 獣医解剖学 講師

2023年度支援実績：2名（公募）

江草 愛 応用生命科学部 食品科学科 食品機能化学 准教授
「加齢と運動に及ぼす骨格筋中イミダゾールジペプチドの機能解明」
前田 友香 応用生命科学部 動物科学科 動物栄養学 助教
「小規模ビール醸造所から排出されるビール粕を用いたサイレージの給与が黒毛和種牛の飼料消化性に及ぼす影響」

2—ダイバーシティ研究環境整備のための取組

02 女性・若手研究者のキャリアフォローシステム

医

内容

他大学や他施設で一定の業績を積んだ研究者を、その業績に応じた職位を得て本学に復職しキャリアを継続できるようにすることを目的とし、日本医科大学を卒業した女性医師・研究者について卒後30年までを目安にキャリアをデータベース化する。

概要

卒業生ごとにその後の所属、キャリア、学位取得等の項目をリサーチしデータベースに蓄積

成果

平成5年から平成26年までの22年間、合計632名分についてリサーチを実施

2—ダイバーシティ研究環境整備のための取組

03 大学院女性フェロースhip制度

医

内容

意欲のある女性大学院生に研究費を支給することにより、研究力の向上を図るとともに、ロールモデルとなる女性教員等との交流、セミナー等への参加の機会を提供し、女性大学院生のキャリア形成を支援する制度。

概要

対象 日本医科大学大学院 医学研究科 博士課程（第2～4学年）に在籍する女性大学院生

支給額 研究費として年額50万円

2023年度支援実績 11名

2—ダイバーシティ研究環境整備のための取組

04 育休等のライフイベントからの円滑な復帰と活躍の推進

医

動画・冊子「ライフイベントとともに働く —妊娠・出産、育児編—」制作

妊娠・出産、育児期にある学校法人日本医科大学の教職員が、その能力を発揮し活躍しながら働き続けることができるために、活用できる制度を紹介する動画と冊子を作成。当事者だけでなくその上司、同僚など働くすべての人の理解を得るため視聴・配布を促進。

<https://one-health.jp/support/3852/>

動画公開日 2023年9月27日

動画視聴者数 441名 (2024年1月末現在)

セミナー「妊活とキャリアについて考えよう」開催

日時 2024年3月18日(月) 16:30～18:00

会場 日本医科大学教育棟講堂+オンライン(Webex)

対象 日本医科大学と日本獣医生命科学大学の教職員と学生
全国ダイバーシティネットワーク 参画機関に所属する教職員と学生(オンライン参加)

テーマに関心のある一般の方(オンライン参加)

講師

鈴木 俊治 日本医科大学 産婦人科学 大学院教授

オープニングリマックス「わが国の不妊治療の現状」

市川 智子 日本医科大学 付属病院 女性診療科・産科 助教

「働きながら妊娠するには?—生殖医療から考える」

出沼オローク 靖子 日本医科大学 付属病院 看護部

「不妊治療の外来から見えてくること」

千葉 裕子氏 厚生労働省 雇用環境・均等局 雇用機会均等課

ハラスメント防止対策室 室長

「不妊治療を受けながら働き続けられる職場環境づくり」

司会 福田 いずみ しあわせキャリア支援センター委員

参加者 163名(会場38名、オンライン125名)



▶「ライフイベントとともに働く」冊子



▶「妊活とキャリアを考えよう」ポスター

2—ダイバーシティ研究環境整備のための取組

05 女性リーダー育成型キックオフシンポジウム開催

医 獣

テーマ

—飛躍的な女性上位職登用に挑むために—
踏み出そう!

女性・若手研究者の活躍促進に向かって

女性リーダー育成型への採択を受けて、日本医科大学と日本獣医生命科学大学が掲げるビジョンを発信するキックオフシンポジウムを開催した。なぜ飛躍的な女性上位職への登用が求められるのか、その推進に向けて必要なことなどについて話し合った。

日時 2023年6月6日(火) 15:00-17:10

会場 日本医科大学教育棟講堂+オンライン(Webex)

対象 日本医科大学、日本獣医生命科学大学、全国ダイバーシティネットワーク参画機関
に所属する教職員、学生、大学院生

プログラム

主催者挨拶

弦間 昭彦 日本医科大学 学長

来賓挨拶

高見 暁子氏 文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課
人材政策推進室長

事業説明

土佐 眞美子 しあわせキャリア支援センター センター長

基調講演

「日本医科大学・日本獣医生命科学大学に期待すること」
山村 康子氏 国立研究開発法人 科学技術振興機構プログラム主管

学長 ビジョンを語る

弦間 昭彦 日本医科大学 学長

鈴木 浩悦 日本獣医生命科学大学 学長



▶パネルディスカッション



▶登壇者

パネルディスカッション

「飛躍的な女性上位職登用に挑むために」

- | | |
|--------|----------------------------------|
| 宮崎 泰成氏 | 東京医科歯科大学 副理事、教授、
学生支援・保健管理機構長 |
| 山村 康子氏 | 国立研究開発法人 科学技術振興機構プログラム主管 |
| 土佐 眞美子 | しあわせキャリア支援センター センター長 |
| 植木 美希 | 日本獣医生命科学大学 ダイバーシティ推進委員会委員長 |
| 恩田 直美 | 日本医科大学 呼吸器内科 助教・医員 |
| 藤原 亜紀 | 日本獣医生命科学大学 獣医学部 獣医学科 准教授 |

閉会挨拶

- 坂本篤裕 学校法人日本医科大学 理事長

司会 小竹佐和子 しあわせキャリア支援センター 副センター長

参加者 173名

<https://one-health.jp/support/3486/>



▶「キックオフシンポジウム」ポスター

2—ダイバーシティ研究環境整備のための取組

06 イクボス推進の取組

医 獣

イクボスワークショップ・セミナーの開催

2021年に始まったイクボス活動を推進するため、2022年度は管理職がイクボスについて考えるワークショップを実施した。2024年の医師の働き方改革を目前に控えた今、女性や若手の活躍、離職率の低下、将来の優秀な人材の確保と定着の実現は重要な課題である。課題解決への鍵として、千駄木地区の管理職を対象に下記の通りイクボスワークショップを開催した。部下育成とチーム・組織作りに関わる課題を共に考えることにより、組織の継続的な成長と発展を目指した。講師は各回とも川島高之氏（NPO法人ファザーリングジャパン理事）



① イクボスワークショップ in 武蔵小杉

日時 2022年12月13日（火）17:00-18:30

会場 武蔵小杉病院 5階 第一会議室

対象 武蔵小杉病院の各科部長、部署長

出席 25名（医師10名、看護師8名、他コメディカル3名、事務職3名）

内容 1.川島氏講演、2.質疑応答、3.ディスカッション、4.谷谷院長によるイクボス宣言

司会 荻田あづさ、谷内七三子、田嶋華子
日本医科大学武蔵小杉病院イクボス推進担当

② イクボスワークショップ in 多摩永山

日時 2023年1月20日（金）17:00-19:00

会場 オンラインWebex

対象 多摩永山病院の医師、コメディカル、事務など各科・各部署の部長

出席 24名（医師19名、看護師2名、他コメディカル3名）

内容 1.川島氏講演、2.質疑応答、3.ディスカッション、4.中井院長によるイクボス宣言

司会 堀 純子 日本医科大学多摩永山病院イクボス推進担当

③ イクボスワークショップ in 千葉北総

日時 2023年2月7日（火）17:00-19:00

会場 千葉北総病院 アメニティ棟1

対象 千葉北総病院の診療部長、看護師長、事務課長

出席 24名（医師11名、看護師8名、他コメディカル1名、事務職4名）

内容 1.川島氏講演、2.質疑応答、3.ディスカッション、4.別所院長によるイクボス宣言

司会 伊藤 公亮
日本医科大学千葉北総病院イクボス推進担当

④ イクボスワークショップ in 武蔵境

日時 2023年3月23日（木）14:00-16:00

会場 日本医科大学武蔵境キャンパス E棟111教室

対象 日本獣医生命科学大学および日本医科大学基礎科学の教授

出席 24名（男性23名 女性1名）

内容 1.川島氏講演、2.ディスカッション、3.鈴木学長、中村学科長によるイクボス宣言

司会 高橋 恭子
日本医科大学武蔵境キャンパス イクボス推進担当

⑤ IKUBOSSセミナー in 付属病院

医療従事者だってワーク・ライフ・バランス—誰もが活躍できる職場と活躍させる上司=イクボス!—

日時 2023年2月6日（月）

会場 日本医科大学橘桜会館ホール

対象 日本医科大学付属病院・法人本部の管理職、教職員

出席 85名(看護師41名、コメディカル14名、医師・研究者10名、事務職13名)

内容 1.川島氏講演、2.質疑応答

司会 土佐眞美子 日本医科大学 イクボス推進担当

<https://one-health.jp/support/2972/>

イクボスプレスの発行

イクボスの理解促進とイクボス推進を目的として発行する、広報誌「IKUBOSS PRESS」の6、7号を発行した。ウェブサイト、メール、紙媒体により連携機関に配信した。

IKUBOSS PRESS Vol.6

発行 2023年3月

記事

- 1:イクボスワークショップin多摩永山 開催報告
- 2:イクボスワークショップin多摩永山 開催報告
- 3:多摩永山病院 中井 章人 院長「どうするイクボス」
- 4:千葉北総病院 別所 竜蔵 院長「イクボスを語る！」
- 5:イクボスセミナー in 付属病院 開催報告
- 6:イクボス川柳

IKUBOSS PRESS Vol.7

発行 2023年5月

記事

- 1:イクボスワークショップin武蔵境 開催報告
- 2:日本獣医生命科学大学 学長 鈴木 浩悦「イクボスと敬讓相和」
- 3:日本医科大学 基礎科学主任 中村 成夫「イクボスへの思い」

Vol.6 Mar. 2023

イクボスワークショップ 2拠点を開催、病院長がイクボスを宣言!

in 多摩永山病院 (1/20)

2023年1月20日、多摩永山病院の診療科部長を中心に中井院長を含む24名が参加し、「イクボスワークショップ in 多摩永山」をオンラインで開催しました。質疑応答では、部下への対応や部門間の連携における難しさと悩みが切実に語られました。続いて「部下との接し方」「無駄の削減」「チーム作り」の3テーマで、活発なディスカッションが行われました。「部下との距離感を把握する、チームの一体感を作る」ために必要な今日から行動できるヒントを得た、空席のない質疑応答から活気や意欲を共有したなどの感想が多く聞かれました。

in 千葉北総病院 (2/7)

千葉北総病院のイクボスワークショップは2月7日に院内の会議室で開催しました。参加者は医師11名、看護部と薬剤部、事務職4名の計24名の管理職です。多様な部下とのコミュニケーションの取り方や、チーム力の向上について、千葉北総病院サリダナルの4つのディスカッションテーマで白熱した議論が行われました。部下の多様性を受け入れるにはひとりの意見を聞くことが重要、多様な職種の参加により多様な価値観を知ることができた、各管理職にワークショップがいきわたるようになるよ、などの意見が挙がりました。

イクボス宣言

1. 各職員の目標やキャリア形成と私生活を応援します。
2. 効率的に働ける環境を整備し、チームワーク醸成のため必要努力をし、職員全員のモチベーション向上とキャリア・アップを促進します。
3. 仕事の充実が私生活の楽しみにつながり、私生活の充実が仕事の楽しみにつながるよう自ら実践し、組織に浸透させます。

日本医科大学多摩永山病院 院長 中井 章人

病院内の今後のイクボス推進と発展が大いに期待される充実したワークショップとなりました。

イクボス宣言

1. 病院長を筆頭に、病院で働く管理職に「イクボス」の取り組みを周知し、院内全体にこれを定着させることにより、職員一人一人が生き生きと働きながら働きやすい環境づくりに取り組めます。
2. 職員が働き方改革の必要性を認識し、仕事を効率的に行うことができるように組織改革・業務改善を推進します。
3. 自らも病院管理職とともに、一人一人の個性に合わせた、仕事のオン・オフを明確にしながら歩調との軸れ合いを中心にワークライフバランスの実践者となり、「イクボス」精神の普及に努めます。

日本医科大学千葉北総病院 院長 別所 竜蔵

▶ IKUBOSS PRESS Vol.6

Vol.7 May. 2023

イクボスワークショップ in 武蔵境 開催

2023年3月23日、日本獣医生命科学大学および日本医科大学基礎科学の教授24名が参加し、「イクボスワークショップ in 武蔵境」を開催しました。川島美之氏(NPO 法人ファースターリンク・ジャパン)を講師に迎え、「部下との接し方」「無駄の削減」「チームビルディング」をテーマに和やかな雰囲気の中で充実したディスカッションが開催された120分となりました。武蔵境キャンパスの特徴として部下との関係が厚くなく、学生との接し方についても多面的な意見が交換されました。また、各拠点共通する課題の「紙や会議などの無駄」については、すでに研究室のレベルではかなり改善しており、大学や法人などの組織全体での改善が望まれるという発表もありました。今回は教授限定でしたが、事務管理職や講師・准教授などの若手教員にも機会があるよという意見も多く、今後の発展につながるかと期待されます。

イクボス宣言 日本獣医生命科学大学 鈴木学長 / 日本医科大学基礎科学 中村主任

ワークショップの最後には日本獣医生命科学大学学長の鈴木浩悦先生と日本医科大学基礎科学主任の中村成夫先生が、イクボスを宣言されました。講師の川島氏からは、ワーク・ライフ・バランスや働き方改革を推進する一方で、厳しさをどう担保していくか、これからのボスの役割をせどころ、という励ましを頂きました。イクボス宣言全文はこちらから

日本獣医生命科学大学 学長 鈴木浩悦

1. 教職員の男女問わず、ライフイベントに合わせて、仕事とプライベートライフを両立できる様に支援します。
2. 皆が協力して効率的に働ける環境を作るための、業務改善と組織作りに取り組みます。
3. 自ら率先してワークライフバランスの実践に努め、「イクボス」として後進の模範となる様に努めます。

日本医科大学 基礎科学 主任 中村成夫

1. キャンパスで働く各職員の個性と家庭環境に配慮し、充実した私生活を送りつつ仕事のキャリアアップを目指すようにサポートします。
2. 働き方改革の精神を呼び、互いの意見を尊重しつつ改善に向けて議論しあえる環境を整備します。
3. ワーク・ライフ・バランスを重視して、業務の偏りや仕事への情熱の燃え尽きがないよう心を配り、自らも豊かに充実した毎日を送ります。

佐列五から鈴木学長、中村基礎科学主任、川島氏、武蔵境イクボス推進員 近日常生、小竹先生、橋本先生、高橋先生

▶ IKUBOSS PRESS Vol.7

2—ダイバーシティ研究環境整備のための取組

07 西ゆり子氏講演会&ワークショップ 開催

医

テレビドラマにおけるスタイリストの草分けとしてご自分の道を切り開き、その分野での第一人者として今も活躍を続ける女性の先輩としてのご講演と、リーダーとして活躍するのにふさわしい着こなしのワークショップを実施いただく。日本医科大学・日本獣医生命科学大学の管理職に向け、リーダーシップ、マネジメント、部下のキャリア育成について学ぶ機会を提供した。

テーマ

服選びはセルフプロデュース ドラマスタイリストが考えるリーダーと しての着こなしのヒント

日時 2024年3月4日(月)17:00-18:30

会場 日本医科大学橘桜ホール

対象 日本医科大学、日本獣医生命科学大学に所属する教職員、学生

講師 西ゆり子氏 スタイリスト

司会 柿沼 美紀 日本獣医生命科学大学 名誉教授

参加者 48名

▶西ゆり子氏講演会 & ワークショップポスター

2—ダイバーシティ研究環境整備のための取組

08 学長と女性研究者の意見交換会開催

獣



▶意見交換会の様子

鈴木新学長と、若手女性教員を中心とした形式ばらない座談会形式で意見交換会が行われた。現在、研究と家庭の両立・教育業務・学内の運営等とワークライフバランスの実現に苦勞する中での状況、ダイバーシティ推進事業に期待すること、女性研究者のさらなる活躍を実現するために必要な支援や取組みについて、幅広く、女性研究者の貴重で率直な意見が出された。それを、冊子にまとめ、生の声を学内に発信し周知を図った。

日時 2023年3月3日 15時-16時30分

会場 日本獣医生命科学大学

参加 日本獣医生命科学大学の女性教員

司会 植木 美希 日本獣医生命科学大学ダイバーシティ推進委員会 委員長

参加者 13名



▶「学長と女性研究者の意見交換会」冊子

2—ダイバーシティ研究環境整備のための取組

09 三鷹ネットワーク大学での企画講座実施

獣

日本獣医生命科学大学の女性研究者が犬猫などのペット動物の健康と保護、家畜（産業動物）の健康、日本における動物保護の現状と課題等を解説する企画講座。「人」「動物」「環境」の健康をひとつと捉えるOne Healthや、その先にあるOne Welfareの考えに触れながら、人と動物がともに健康で安心できる暮らしを実現するための動物福祉（アニマルウェルフェア）への理解を促した。また講演の内容を冊子にまとめ情報発信を行った。

テーマ

動物の命と健康を守るには —女性研究者が語る動物福祉の現在—

(全4回)

会場 三鷹ネットワーク大学、オンライン (Zoom)

参加者 約100名

① 動物福祉（アニマルウェルフェア）とは何か— 日本の現状と課題

日時 2022年11月26日（土）10:30-12:00

講師 植木 美希 日本獣医生命科学大学 教授

② ペットとの共生を考える—人もペットも幸せな社会に

日時 2022年12月3日（土）14:00-15:30

講師 町屋 奈 公益社団法人日本動物福祉協会 獣医師調査員

③ 多くの命を救うためにできること— シェルターメディスン 動物福祉と公衆衛生を考える

日時 2023年3月5日（日）14:00-15:30

講師 田中 亜紀 日本獣医生命科学大学 准教授

④ 家畜（産業動物）の健康—世界の現状と日本の対応

日時 2023年2月19日（日）14:00-15:30

講師 植木 美希 日本獣医生命科学大学 教授



▶企画講座ポスター（左）と企画講座冊子

2—ダイバーシティ研究環境整備のための取組

10 情報発信—1.本事業の紹介動画とリーフレットの制作

医 獣

動画

本事業の紹介動画（3分34秒）を制作した。両大学学長が掲げるビジョンを発信し、本事業の目標、取組を伝えるツールとして、ウェブサイトへの掲載、イベントなどでの視聴に活用し、事業への理解を促した。

<https://one-health.jp/report/3139/>

リーフレット

本事業を紹介するリーフレット（A3二つ折り）を制作した。両大学学長が掲げるビジョン、本事業の目的と目標、取組内容、実施体制を伝えるツールとして、ウェブサイトへの掲載、全学研究者およびイベント開催時の配布を行い、事業への理解を促した。

<https://one-health.jp/report/3139/>



▶女性リーダー育成型事業紹介動画



▶女性リーダー育成型事業紹介リーフレット

2—ダイバーシティ研究環境整備のための取組

11 情報発信—2. 本事業のウェブサイト運用（牽引型と共同）

医 獣

本事業の目標、取組、支援などのタイムリーな情報発信としてウェブサイトを活用した。同事業の牽引型のウェブサイトのリニューアルし、牽引型、女性リーダー育成型の両方の情報を明確に伝える仕様とした。

<https://one-health.jp/>



▶ウェブサイト「One Health」

2—ダイバーシティ研究環境整備のための取組

12 情報発信—3.本事業のNewsletter発行(牽引型と共同)



本事業の情報、活動報告などを提供するためのNewsletterを発行した。同事業の牽引型でこれまで発行していたNewsletterの誌面デザインをリニューアルし、牽引型、女性リーダー育成型の両方の情報を伝える仕様とした。

2023年度はVol.8、Vol.9を発行。

Vol.8

発行 2023年7月

記事

- 1: 女性リーダー育成型事業の紹介
- 2: キックオフシンポジウムの報告
- 3: コラム ペットのいるワーク・ライフ・バランス
- 4: 活動報告、支援制度の案内

<https://one-health.jp/report/3741/>

Vol.9

発行 2024年1月

記事

- 1: インタビュー 堀 純子
- 2: グローバル人材の育成に関わる支援制度紹介
- 3: 活動報告
- 4: コラム ペットのいるワーク・ライフ・バランス
- 5: 活動報告、支援制度の案内

<https://one-health.jp/report/4144/>



▶ Newsletter Vol.8



▶ Newsletter Vol.9

2—ダイバーシティ研究環境整備のための取組

13 情報発信—4. 本事業の啓発ポスター作成

獣

事業紹介のリーフレットとポスター作成

日本獣医生命科学大学において、本事業の紹介用フライヤー（A4サイズ両面）とポスター（A2サイズ片面）を制作した。学内および連携機関へ配布・掲示し、本事業を広報し理解を促した。



▶女性リーダー育成型事業紹介ポスターとフライヤー

3—女性・若手研究者の研究力向上のための取組とそれを通じたリーダー育成のための取組

01 グローバル人材の育成

医 獣

国際学会発表助成制度 | 医 獣

女性研究者自らが企画し遂行した研究の成果を世界に発信する国際学会発表のための費用を助成する制度。

対象 日本医科大学に所属する常勤の女性研究者（特任含む） *ポスト・ドクターは除く

支給額 国際学会出席に必要な旅費、学会参加費
日医大 上限20万円、日獣大 上限10万円

2023年度支援実績

日医大 5名

若林 あや子 日本医科大学 微生物学・免疫学 講師

開催地 タイ・バンコク

学会名 World Allergy Congress 2023

数阪 広子 付属病院 内分泌外科 助教・医員

開催地 イタリア・ミラノ

学会名 45th Annual Meeting of the European Thyroid Association

小泉 英里子 付属病院 内視鏡センター 助教・医員

開催地 デンマーク・コペンハーゲン

学会名 United European Gastroenterology Week 2023

西本 あか奈 武蔵小杉病院 形成外科 病院講師

開催地 韓国・ソウル

学会名 PRS Korea 2023

田中 知恵 多摩永山病院 救命救急科 病院講師

開催地 スペイン・バルセロナ

学会名 EUSEM 2023 European Emergency Medicine Congress

日獣大 0名

女性研究者海外研修助成制度 | 医

女性研究者の海外での研究活動を支援し、国際的な研究ネットワークの構築、研究力の強化、研究実績の積み上げにより上位職へのキャリアアップを支援する制度。

対象 日本医科大学に所属する常勤の女性研究者（特任含む） *ポスト・ドクターは除く

期間 1か月以上当該年度内の継続した期間

助成 往復の渡航費、滞在費（滞日数×8,000円）

2023年度支援実績

0名

論文投稿費用助成制度 | 獣

女性研究者の研究力向上とキャリアアップを推進することを目的として、学術雑誌への投稿論文の論文投稿費用を助成する制度。

対象 日本獣医生命科学大学に所属する女性研究者（常勤教員およびポスドク研究員）

助成 10万円

2023年度支援実績

0名

3—女性・若手研究者の研究力向上のための取組とそれを通じたリーダー育成のための取組

02 研究スキルアップ支援

医 獣

①大型研究費獲得に向けたセミナー | 医 獣

テーマ

ワンランク上の科研費を目指そう！

日時 2023年2月13日(月) 17時～18時30分

会場 オンライン (Webex)

対象 日本医科大学、日本獣医生命科学大学の教職員

司会 眞野 あすか しあわせキャリア支援センター 委員

プログラム

講演1「大学(臨床・教育・研究)で生き抜く—細い糸でも手放さずに—」

松本 多絵 日本医科大学 小児科講師

講演2「研究統括センターに相談できること」

松山 琴音 学校法人日本医科大学研究統括センター 副センター長

ディスカッション「研究時間の作り方」

参加者 41名

②リサーチカフェ—基礎と臨床の垣根を越えて— | 医

第1回科研費

テーマ

科研費申請ミニレクチャー・科研費に関するグループディスカッション

日時 2023年7月26日(水) 16時～17時30分

会場 日本医科大学医学部 教育棟 講義室3

対象 日本医科大学に所属する教員・ポストドクター

講師 大石 由美子氏 東京医科歯科大学 歯学総合研究科
病態代謝解析学 教授

司会 遠田 悦子 日本医科大学 解析人体病理学 講師
しあわせキャリア支援センター委員

参加者 25名



▶「大型研究費獲得に向けたセミナー」ポスター



▶「リサーチカフェ」ポスター

③ 研究スキルアップセミナー | 医

テーマ

サイエンスイラストレーションのすすめ
「ビジュアル化で
研究テーマをアピール!」

日時 2024年2月8日(木)17時~19時

会場 オンライン(Webex)

対象 日本医科大学、日本獣医生命科学大学、
全国ダイバーシティネットワーク東京ブロック参画機関の
教職員、学生

プログラム

講演1「イラストの力を研究に活かすために」

有賀 雅奈氏 桜美林大学リベラルアーツ学群 助教

講演2「Visualizing your research!—効率的な研究の可視化
を目指して」井上 寛美氏 京都大学ヒト生物学高等研究拠点 (ASHBi)
リサーチコーディネーター

講演3「効率よく魅力的な科学イラストを作成するために」

竹村 祥成氏 カクタス・コミュニケーションズ株式会社

司会 遠田 悦子 日本医科大学 解析人体病理学 教授
しあわせキャリア支援センター委員

参加者 138名

文部科学省科学技術人材育成費補助事業 タイムバリエーション研究推進費(女性リーダー育成型)

研究スキルアップ支援セミナー

**サイエンスイラストレーションのすすめ
ビジュアル化で
研究成果をアピール!**

2024 2/8 Thu
17:00-19:00
Webinar_Webex

QRコード

▲申込 締切:2/6Tue

Our Special Speaker

イラストの力を研究に活かすために

有賀 雅奈
ARIGA Kana
桜美林大学 リベラルアーツ学群 助教

Visualizing your research!
—効率的な研究の可視化を目指して

井上 寛美
INOUE Hiromi
京都大学ヒト生物学高等研究拠点
(ASHBi)リサーチコーディネーター

効率よく魅力的な
科学イラストを作成するために

竹村 祥成
TAKEMURA Yoshinari
カクタス・コミュニケーションズ株式会社

参加対象
次に所属する教職員と学生
・日本医科大学
・日本獣医生命科学大学
・全国ダイバーシティネットワーク
東京ブロック参画機関

主催：日本医科大学 問合せ：しあわせキャリア支援センター
03-3822-2131(ex5504) app-shien@nms.ac.jp https://one-health.jp/

▶「研究スキルアップセミナー」ポスター

3—女性・若手研究者の研究力向上のための取組とそれを通じたリーダー育成のための取組

03 飛躍的共同研究費助成制度（産官学連携共同研究の支援）

獣

獣医・農学（生命科学）領域での産官学連携共同研究の促進を目指し、特に有用と認めたプロジェクトに対し、飛躍的共同研究費助成制度費を補助する制度。

対象 日本獣医生命科学大学に所属する女性教員（助教以上）

助成額 1件 150万円

2022年度支援実績 3名

木邊 量子 獣医学部 獣医学科 獣医微生物学研究室 准教授
「マウス腸内乳酸菌およびタングステンのアトピー性皮膚炎モデルマウスにおけるDSS腸内抑制効果の解明」

山本 昌美 獣医学部 獣医保健看護学科 保健看護学応用部門 准教授
「ニホンライチョウを未来へつなぐ病理学的アプローチ（消化管病態の解析）」

江草 愛 応用生命科学部 食品科学科 食品機能化学 准教授
「“健康と福祉”に配慮した鶏とその生産物の栄養評価と消費者評価」

2023年度支援実績 3名

木邊 量子 獣医学部 獣医学科 獣医微生物学 准教授
「健常犬由来FusobacteriumのIBDモデルマウス腸内への組織免疫学的影響および安全性評価」

山本 昌美 獣医学部 獣医保健看護学科 保健看護学応用部門 准教授
「ニホンライチョウを未来へつなぐ病理学的アプローチ（腎臓病態の解析）」

江草 愛 応用生命科学部 食品科学科 食品機能化学 准教授
「“健康と福祉”に配慮した鶏とその生産物の栄養評価と消費者評価」

3—女性・若手研究者の研究力向上のための取組とそれを通じたリーダー育成のための取組

04 飛躍的研究支援員配置制度

獣

ライフイベントがあり、かつ優秀な研究者に対し、当該研究分野のより専門性の高い研究支援員を配置することで女性研究者の研究力向上を支援・強化する制度。

対象 日本獣医生命科学大学に所属する常勤の女性教員（ライフイベントの条件に該当する）

研究支援員配置時間 1週最大30時間

2022年度支援実績 3名

2023年度支援実績 3名

3—女性・若手研究者の研究力向上のための取組とそれを通じたリーダー育成のための取組

05 女性リーダー育成セミナー

医 獣

ダイバーシティを推進することはアカデミアの発展には欠かせない。ダイバーシティ事業が推進されるに至った経緯や必要性、牽引型と女性リーダー育成型の具体的な内容の違い、今後どう取り組んでいくべきなのか本学に期待されることをわかりやすく講演頂いた。

テーマ

科学技術人材育成費補助金 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」事業の社会的意義と本学への期待

日時 2024年2月20日(火) 14:00-15:30

会場 日本獣医生命科学大学E棟 111講義室＋
オンライン(Webex)

対象 日本獣医生命科学大学、日本医科大学に所属する教職員、
学生、大学院生

講師 山村 康子 氏 国立研究開発法人科学技術振興機構
プログラム主管

司会 植木美希 日本獣医生命科学大学 ダイバーシティ推進委員会 委員長

参加者 46名

文部科学省 科学技術人材育成費補助金
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (女性リーダー育成型)

2024/2/20 Tue
14:00-15:30

女性リーダー育成セミナー
科学技術人材育成費補助金
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」
事業の社会的意義と本学への期待

日本獣医生命科学大学
E棟 111講義室
＋ オンライン(Webex)

山村 康子 氏 Yasuko Yamamura
JST (国立研究開発法人科学技術振興機構) プログラム主管

東京医科歯科大学名誉教授、客員フェロー
セントラル大学客員教授、セントラル大学
大学客員研究員兼研究員、東京大学理学部
理学部准教授等。2016年より独立行政法人
科学技術振興機構のダイバーシティ推進
員に就く。

ダイバーシティを推進することはアカデミアの発展には必要です。ダイバーシティ事業が推進されるに至った経緯や必要性、牽引型と女性リーダー育成型の具体的な内容の違い、今後どう取り組んでいくべきなのか本学に期待されることをわかりやすくお話しいたします。
申込不要です。直接会場にお越しください。登録のご参加をお待ちしております。

対象 日本獣医生命科学大学に所属する教職員、学生・大学院生：会場
日本医科大学に所属する教職員、学生・大学院生：オンライン

オンライン
こちらよりお申し込み下さい
2024年2月19日

主催 日本獣医生命科学大学 ダイバーシティ推進委員会
問合せ：ダイバーシティ推進室
☎0422-374151ext51971 📧diversity@nuhs.ac.jp 🌐https://one-health.jp

▶「リーダー育成プログラム」受講者募集ポスター



▶セミナーの様子

4—女性研究者の上位職への積極登用に向けた取組

01 優秀な女性研究者への研究費支援

医 獣

女性研究者研究費支援 | 医

女性研究者の研究活動・業績向上さらに上位職登用の促進を目的として、キャリアアップに意欲を持つ優秀な女性研究者に対し、研究費を助成する。

対象 日本医科大学に所属する女性教員・研究者（助教以上）大学院教授は除く

助成額 2022年度 ①1人300万円 ②1人200万 ③1人50万円
2023年度 1人250万円

2022年度支援実績

- ① 14名（内訳：教授3名、特任教授1名、准教授1名、講師7名、助教2名）
- ② 1名（内訳：講師1名）
- ③ 10名（内訳：講師2名、助教8名）

2023年度支援実績

9名（内訳：教授2名、准教授2名、講師4名、助教1名）

研究費支援（女性限定枠） | 獣

新規に採用された次世代の上位職を担う女性研究者に対し、研究環境の整備、研究力向上を図ることを目的に研究費を支援する。

対象 新規に採用された女性研究者

助成額 100万円

2022年度支援実績

1名（公募）

前田 友香 応用生命科学部 動物科学科 動物栄養学 助教

「小規模ビール醸造所から排出されるビール粕の肉用牛向け飼料化に関する研究」

研究費支援（研究強化） | 獣

女性研究者がリーダーとして独立して研究できる環境整備を行うため、次世代の上位職を担い、上位職への登用が期待できる研究者に、活躍に必要な研究費を配分し、女性研究者の研究の推進および研究力向上を図る。

対象 日本獣医生命科学大学に所属する女性教員（助教以上）およびポストドクター

助成額 100万円

2022年度支援実績

1名（公募）

奈良井 朝子 応用生命科学部 食品科学科 農産食品学 准教授

「クロロフィル分解産物のフィトールとその生体内代謝産物であるフィタン酸の機能性に関する研究」

2023年度支援実績

2名（公募）

浅田 李佳子 獣医学部 獣医学科 放射線学 ポストドクター

「犬猫のてんかん外科適応例の追跡調査」

田中 祥代 獣医学部 獣医学科 獣医外科学 ポストドクター

「犬の下垂体腺腫切除後に生じる中枢性尿崩症の病態解明」

4—女性研究者の上位職への積極登用に向けた取組

02 ポストアップ教授・ポストアップ准教授

医 獣

日本医科大学

近い将来の活躍が期待され、教授および准教授に昇任が期待できる女性研究者に対して研究費等の支援を行い、確実な上位職への登用を図る。

ポストアップ教員制度 (2023年8月1日施行)

目的 優秀な女性教員の育成を促進し、大学の教育研究活動の活性化

対象 飛躍的女性上位職登用プロジェクトチームが選考*したキャリアアップに意欲を持つ優秀な女性研究者のうち、当該分野の大学院教授が3年以内に上位職への昇任が可能と評価した准教授および講師

*原則として、女性研究者研究費支援採択者。研究業績をリストアップして候補者を選出。

職名 教授 (ポストアップ)、准教授 (ポストアップ)

選考 大学院教授会における審議を経て、学長が決定し、理事長に推薦

支援 研究費支援、研究環境整備、リーダー育成プログラム研修参加支援等

任期 3年 *その間に業績を積み重ねキャリアアップ達成

2023年度実績 ポストアップ教授2名

日本獣医生命科学大学

近い将来の活躍が期待され、意欲ある女性研究者を「ポストアップ教授」、「ポストアップ准教授」として登用し、未来の女性リーダーとして育成する。

2023年度実績

特任教授制度による任命 (2023年4月1日)

近い将来の活躍および好業績が期待され、意欲に満ちた女性准教授1名を特任教授として任命。

4—女性研究者の上位職への積極登用に向けた取組

03 教授（教育担当）ポスト新設

医

医学部教育の内容を充実させるため、主に教育を担当する教授として昇任できる制度を新設し、医学部教育の拡充を図る。（2023年8月1日設置）

医学部の上位職が教育・研究・診療のすべてを行ってきた時代からの脱却を目指して診療を評価するなど、多様な教授の選任制度や教育を中心とした教員制度を導入する。全てをフルに実施する必要はなく、得意なことに取り組んでもらうという趣旨で、上位職への女性の登用に向けての環境整備にもつながると期待される。

2023年度実績 0名

4—女性研究者の上位職への積極登用に向けた取組

04 リーダー育成プログラム

医 獣

リーダー育成プログラム | 医

上位職として必要なマネジメント力やチーム系勢力のスキルを向上させることを目的として外部機関が実施するリーダー育成プログラムの参加費を助成する。

対象 日本医科大学に所属する、2019年度以降、講師（教育担当含む）、准教授（教育担当含む）、教授に採用された、又は昇任した女性研究者

助成内容 外部機関が実施するリーダーシップ・管理職育成に関する5つの講座のうちいずれか1回の参加費を助成

2023年度支援実績 6名（予定）

女性対象の研究費公募のアナウンス | 医 獣

女性対象の研究費公募情報を、本事業ウェブサイト上に掲載、更新し、メール等での広報を実施して積極的な研究費獲得を促進した。

共同研究促進プログラム | 医 獣

連携機関（日医大、日獣大）での共同研究の促進を目指し、研究者に研究テーマ・スキル、研究内容等の提供を依頼。提供した研究者には情報をフィードバックするプログラム。

対象 これまでにダイバーシティ事業の支援を受けた、日医大・日獣大の女性研究者

方法 所属、研究テーマ、用いる実験手法、共同研究が可能なスキルについて情報を収集。研究者が活用できるようにまとめ、参加者間で共有する。

2023年度実績 36名

▶「リーダー育成プログラム」受講者募集ポスター

5—目標達成に必要な支援体制の整備

01 アドバイザーの活用

医

ダイバーシティ研究環境実現について高い専門性を持ち、横断的に取組に関わることができる外部のアドバイザーを活用した。

2022年度実績

塚原 月子氏 株式会社カレディスト 代表取締役

5年後キャリアサポート制度の整備において専門的な立場からの支援・助言を得た。

川島 高之氏 NPO法人ファザーリングジャパン 理事

全学でのダイバーシティ研究環境実現において、特に管理職に向けたイクボスワークショップやセミナーの実施について専門的な立場からの支援・助言を得た。

5—目標達成に必要な支援体制の整備

02 専任URAの育成

医

若手・女性研究者のキャリア形成に向けた体制を作るため、専任URAの育成支援を実施した。

2023年度実績

第2回URA研究戦略マネジメント勉強会への協力

テーマ 大学・研究機関の研究力強化に向けて

講師 末松 誠 氏 慶應義塾大学名誉教授・実験動物中央研究所 所長

日時 2023年8月22日(火) 16:00-18:00

会場 日本医科大学橋桜ホール+オンライン

主催 日本医科大学 早稲田大学研究戦略センター

参加者 99名(会場36名 Web63名)

URA育成に係る講座等受講料の補助

日本医科大学 医療管理学 助教1名が以下の講座を受講し、その際の受講料の補助を行った。

2023年6月

DIAプロジェクトマネジメント・トレーニングコース

2023年10月～11月

URAスキル認定制度 Fundamentalレベル

第2回 URA 研究戦略マネジメント勉強会
大学・研究機関の研究力強化に向けて

2023年 8月22日 火 16:00-18:00

場所 日本医科大学 橋桜会館 (文京区向丘2-20-7) / オンライン

講師 末松 誠 先生 (慶應義塾大学名誉教授・実験動物中央研究所 所長)

「医療研究開発におけるグローバルデータシェアリングの重要性」
URAによる研究者個人では不可能な課題解決！

1983年慶應義塾大学理学部を卒業。理学部科学教室所属。基礎病小循環学研究室に在籍。コリアステルア大学サテライト立役者として学生生活に留学を経て、2001年慶應義塾大学医学部教授(生化学教室)に就任。2007年慶應義塾大学学長。2010年JST ERATO末松ガスバイオロジー研究社社長。2015年より日本医科研究開発機構 (AMED)初代理事兼理事長。2020年慶應義塾大学名誉教授。(公財)実験動物中央研究所所長。リトアニア共和国国家勲章、安藤百福大賞、福澤賞など受賞。

どなたでもご参加いただけます
勉強会の趣意では、全国の研究機関に所属する研究支援者(URA, 技術職員, 事務職員など)、執行部、研究者等を対象としています

参加 無料

プログラム 開会・趣意説明
講演 (45分)
質疑応答・ディスカッション (60分)
まとめ・閉会

URA研究戦略マネジメント勉強会とは？
早稲田大学と日本医科大学の協定により、2022年に発足。大学が多様なステークホルダーを巻き込んで社会実装の原動力として成長することを目標し、URAなど研究支援者自らが主体的に仕掛けるマインドを醸成するための勉強会です。

参加登録
専任の専任登録が必須です

締切: 8月18日(金)

主 催: 日本医科大学/早稲田大学研究戦略センター
世話人: 松山伸哉, 藤村有司 (学校法人日本医科大学研究戦略センター) 日本医科大学研究戦略センター
丸山浩平, 重茂 浩典, 坂谷 和代 (早稲田大学研究戦略センター) ura@nims.ac.jp

▶「URA研究戦略マネジメント勉強会」ポスター

3 章

参考資料

One Health実行委員会

One Health実行委員会は、学校法人日本医科大学が設置する日本医科大学および日本獣医生命科学大学の女性・若手研究者のライフイベントおよびワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備、活躍の促進並びに就労および研究の機会の確保等を図るため、本法人が主導的、牽引的に企業と共同して行うダイバーシティ事業を実施するための委員会です。

2022年度

委員名簿

第1号	日本医科大学 学長 弦間 昭彦
第2号	日本獣医生命科学大学 学長 清水 一政 (2022年9月まで)
	日本獣医生命科学大学 学長 鈴木 浩悦 (2022年10月から)
第3号	日本医科大学 研究部長 近藤 幸尋
第4号	日本獣医生命科学大学 研究部長 近江 俊徳
第5号	しあわせキャリア支援センター センター長 土佐 真美子
第6号	日本獣医生命科学大学 教授 植木 美希
	アンファー株式会社 課長 波間 隆則
第7号	日本医科大学 大学院教授 大石 由美子
	日本医科大学 教授 船坂 陽子
	日本獣医生命科学大学 教授 柿沼 美紀

開催履歴

第1回	日時	2022年10月24日
	議題	1. 令和4年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)」採択について 2. プロジェクトチームの設置について
第2回	日時	2022年12月9日
	議題	令和4年度女性研究者研究費支援の採択について
第3回	日時	2022年12月19日
	議題	令和4年度共同研究、研究支援員配置者、研究費支援(女性支援・研究強化支援)の採択について
第4回	日時	2023年1月26日
	議題	令和5年度共同研究および研究支援員配置制度利用者の採択について 令和4年度女性研究者研究費支援の追加採択について

2023年度

委員名簿

第1号	日本医科大学 学長 弦間 昭彦
第2号	日本獣医生命科学大学 学長 鈴木 浩悦
第3号	日本医科大学 研究部長 近藤 幸尋
第4号	日本獣医生命科学大学 研究部長 近江 俊徳
第5号	しあわせキャリア支援センター センター長 土佐 眞美子
第6号	日本獣医生命科学大学 教授 植木 美希
	アンファー株式会社研究開発本部本部長 長田 康孝
第7号	日本医科大学 大学院教授 大石 由美子 (2023年6月まで)
	日本医科大学 教授 神田 奈緒子 (2023年7月から)
	日本獣医生命科学大学 教授 小竹 佐知子

開催履歴

第1回	日時	2023年4月26日
	議題	5年後キャリアサポート制度利用者の採択について
第2回	日時	2023年5月23日
	議題	令和5年度女性研究者研究費支援の採択について
第3回	日時	2023年7月10日
	議題	令和5年度日本医科大学大学院女性フェロースhip制度申請者の採択について
第4回	日時	2023年9月1日
	議題	令和5年度研究費支援(キャリアアップ・研究力強化)の採択について
第5回	日時	2023年10月18日
	議題	令和5年度研究費支援(キャリアアップ)採択について
第6回	日時	2023年12月7日
	議題	令和5年度女性研究者研究費支援の追加配分について

ダイバーシティ推進委員会

日本医科大学 ダイバーシティ推進委員会

委員名簿	
2022年度	日本医科大学大学院医学研究科長 森田 明夫
	日本医科大学 研究部長 近藤 幸尋
	日本医科大学 卒後研究委員会委員長 吉田 寛
	土佐しあわせキャリア支援センター センター長 土佐 眞美子
	日本医科大学大学院教授 大石 由美子
	日本医科大学大学院教授 岩井 佳子
	日本医科大学事務局長 栗山 雅秀
	日本医科大学教授 船坂 陽子
	日本医科大学教授 堀 純子
	日本医科大学医学教育センター長 伊藤 保彦
	日本医科大学付属病院 院長 汲田 伸一郎
	日本医科大学武蔵小杉病院 院長 谷合 信彦
	日本医科大学多摩永山病院 院長 中井 章人
	日本医科大学千葉北総病院 院長 別所 竜蔵
オブザーバー	
日本医科大学 学長 弦間 昭彦	
開催履歴	
なし	
委員名簿	
2023年度	日本医科大学大学院 医学研究科長 桑名 正隆
	日本医科大学 研究部長 近藤 幸尋
	日本医科大学 卒後研究委員会委員長 石井 庸介
	土佐しあわせキャリア支援センター センター長 土佐 眞美子
	日本医科大学大学院教授 鈴木 俊治
	日本医科大学大学院教授 岩井 佳子
	日本医科大学事務局長 栗山 雅秀
	日本医科大学教授 船坂 陽子
	日本医科大学教授 堀 純子
	日本医科大学医学教育センター長 伊藤 保彦
	日本医科大学付属病院 院長 汲田 伸一郎
	日本医科大学武蔵小杉病院 院長 谷合 信彦

2023年度	日本医科大学多摩永山病院 院長 中井 章人
	日本医科大学千葉北総病院 院長 別所 竜蔵
	オブザーバー
	日本医科大学 学長 弦間 昭彦
	開催履歴
	第1回 日時 2023年4月19日 議題 「5年後キャリアサポート制度」利用者の採択について
	第2回 日時 2023年5月23日 議題 「令和5年度女性研究者研究費支援」の採択について
	第3回 日時 2023年6月22日 議題 「令和5年度日本医科大学大学院女性フェローシップ制度」の採択について
	第4回 日時 2023年11月30日 議題 「令和5年度女性研究者研究費支援の助成金追加配分」について

日本獣医生命科学大学 ダイバーシティ推進委員会

2022年度	委員名簿
	ダイバーシティ推進委員会委員長 植木 美希
	日本獣医生命科学大学研究部長 近江 俊徳
	日本獣医生命科学大学教員選考委員会委員長 近江 俊徳
	日本獣医生命科学大学教授 柿沼 美紀
	日本獣医生命科学大学准教授 山本 昌美
	日本獣医生命科学大学助教 倉岡 睦季
	日本獣医生命科学大学教授 小竹 佐知子
	日本獣医生命科学大学附属動物医療センター院長 藤田 道郎
	日本獣医生命科学大学事務局長 小見 夏生
	日本獣医生命科学大学庶務課長 赤星 昌史
	オブザーバー
	日本獣医生命科学大学 学長 清水 一政
	日本獣医生命科学大学 学長 鈴木 浩悦 (2022年度10月1日就任)
	開催履歴
	日時 2022年12月14日から12月16日 メール会議 議題 「令和4・5年度共同研究費助成および研究支援員配置制度、研究費支援(研究力強化・女性限定枠・5年後キャリアビジョンサポート)」について

ダイバーシティ推進委員会

日本獣医生命科学大学 ダイバーシティ推進委員会

委員名簿

- ダイバーシティ推進委員会委員長 植木 美希
- 日本獣医生命科学大学研究部長 近江 俊徳
- 日本獣医生命科学大学研究科長 盆子原 誠
- 日本獣医生命科学大学教員選考委員会委員長 倉田 修
- 日本獣医生命科学大学准教授 木邊 量子
- 日本獣医生命科学大学准教授 山本 昌美
- 日本獣医生命科学大学助教 倉岡 睦季
- 日本獣医生命科学大学教授 小竹 佐知子
- 日本獣医生命科学大学附属動物医療センター院長 藤田 道郎
- 日本獣医生命科学大学事務局長 小見 夏生
- 日本獣医生命科学大学庶務課長 有賀 豊

オブザーバー

- 日本獣医生命科学大学 学長 鈴木 浩悦

2023年度

開催履歴

- 第1回
日時 2023年5月29日
議題 「共同研究費助成および研究支援員配置制度、研究費支援（研究力強化・5年後キャリアサポート）、他取組、論文投稿費用助成制度」について
- 第2回
日時 2023年7月28日
議題 「国際学会発表助成制度」の公募について
- 第3回
日時 2023年11月10日から11月15日 メール会議
議題 「令和6年度飛躍的共同研究費助成および飛躍的研究支援員配置制度」の公募および「論文投稿費用助成制度」の採択について
- 第4回
日時 2023年12月16日から12月18日 メール会議
議題 「論文投稿費用助成制度」の採択および「シンポジウム」の開催について
- 第5回
日時 2024年1月9日
議題 「シンポジウム」の開催について

委員名簿

- 2022年度 日本獣医生命科学大学 学長 鈴木 浩悦
- 日本獣医生命科学大学研究部長 近江 俊徳

飛躍的上位職登用プロジェクトチームミーティング

日本医科大学 飛躍的上位職登用プロジェクトチームミーティング

委員名簿

- 日本医科大学 学長 弦間 昭彦
- 日本医科大学研究部 部長 近藤 幸尋
- 日本医科大学大学院 医学研究科長 森田 明夫
- 日本医科大学 教員選考委員会委員長 森田 林平
- しあわせキャリア支援センター センター長 土佐 眞美子
- 日本医科大学 教授 船坂 陽子
- 日本医科大学 教授 堀 純子
- 日本医科大学 教授 神田 奈緒子
- 日本医科大学学事部 部長 鎌田 誠
- 日本医科大学図書館 事務室長 三枝 久美

開催履歴

2022年度

- 第1回
日時 2022年11月11日
議題 1.プロジェクトチーム結成に至る説明
2.メンバー顔合わせご挨拶
3.令和4年度女性研究者研究費支援公募要領(案)および申請書類の確認
- 第2回
日時 2022年12月7日
議題 令和4年度女性研究者研究費支援採択者について
- 第3回
日時 2023年1月19日
議題 令和4年度女性研究者研究費支援追加採択について
- 第4回
日時 2023年2月17日
議題 令和5年度女性研究者研究費支援公募について他

委員名簿

2023年度

- 日本医科大学 学長 弦間 昭彦
- 日本医科大学研究部 部長 近藤 幸尋
- 日本医科大学大学院 医学研究科長 桑名 正隆
- 日本医科大学 教員選考委員会委員長 森田 林平
- しあわせキャリア支援センター センター長 土佐 眞美子
- 日本医科大学 教授 船坂 陽子

飛躍的上位職登用プロジェクトチームミーティング

日本医科大学 飛躍的上位職登用プロジェクトチームミーティング

日本医科大学 教授 堀 純子

日本医科大学 教授 神田 奈緒子

日本医科大学学事部 部長 鎌田 誠

日本医科大学図書館 事務室長 三枝 久美

開催履歴

第1回

日時 2023年4月6日

議題 令和5年度女性研究者研究費支援採択候補者の選考について

第2回

日時 2023年5月17日

議題 1. 令和5年度女性研究者研究費支援採択候補者の選考について
2. ポストアップ教員制度（案）について

2023年度

第3回

日時 2023年9月28日

議題 ポストアップ教員候補者について他

第4回

日時 2023年11月22日

議題 令和5年度女性研究者研究費支援の助成金追加配分について

第5回

日時 2023年12月4日

議題 令和6年度女性研究者海外研修助成制度（ダイバーシティ支援）選考について

日本獣医生命科学大学 飛躍的上位職登用プロジェクトチームミーティング

ダイバーシティ推進委員会委員長 植木 美希

日本獣医生命科学大学教授 柿沼 美紀

日本獣医生命科学大学教授 水越 美奈

日本獣医生命科学大学教授 小竹 佐知子

2022年度

開催履歴

日時 2022年12月13日

議題 「令和4・5年度共同研究費助成および研究支援員配置制度、研究費支援（研究力強化・女性限定枠・5年後キャリアサポート）」の採択・公募について

委員名簿	
	日本獣医生命科学大学 学長 鈴木 浩悦
	日本獣医生命科学大学 副学長 松本 浩毅
	日本獣医生命科学大学 研究部長 近江 俊徳
	日本獣医生命科学大学 研究科長 盆子原 誠
	ダイバーシティ推進委員会委員長 植木 美希
	日本獣医生命科学大学 獣医学部長 田中 良和
	日本獣医生命科学大学 応用生命科学部長 有村 裕
	日本獣医生命科学大学 教授 濱野 佐代子
	日本獣医生命科学大学 教授 水越美奈
	日本獣医生命科学大学 教授 小竹佐知子
開催履歴	
2023年度	第1回
	日時 2023年6月7日
	議題 「令和5年度研究費支援制度（研究力強化・5年後キャリアサポート）」の公募および「フェローシップ制度」の制度について
	第2回
	日時 2023年7月27日
	議題 「令和5年度研究費支援制度（研究力強化・5年後キャリアサポート）」の採択について
	第3回
	日時 2023年10月11日
	議題 「令和5年度研究費支援制度（5年後キャリアサポート）」の再公募に係る採択および「フェローシップ制度」の公募について
	第4回
	日時 2024年1月9日
	議題 「令和6年度飛躍的共同研究費助成および飛躍的研究支援員配置制度」の採択について

学校法人日本医科大学における ダイバーシティ研究環境実現のあゆみ

学校法人日本医科大学では2015年に女性医師・研究者支援室を設置し、女性医師・研究者の育児、介護等との両立支援および研究支援を開始しました。主な取組として、派遣型の保育支援の実施、ライフイベントのある研究者に研究支援員を配置する事業、女性活躍を促進する講演会などを実施してきました。

2019年に女性医師・研究者を中心に、教職員の多様性を重んじ、しあわせにキャリアを築くことができる環境実現を目指し組織の改組編制を行い「しあわせキャリア支援センター」を設立設置しました。

同年、文部科学省人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」の採択を受けて以降は、日本獣医生命科学大学、アンファー株式会社と連携した女性研究者の研究活動支援の取組を推進してきました。さらに2022年度には同事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)」に採択され、学長の強いリーダーシップのもと、女性研究者の活躍が促進され、多くの女性上位職が登用されています。

学校法人日本医科大学		
2015年	5月	女性医師・研究者支援室を開設
	12月	ベビーシッター派遣病児保育支援事業の試行開始
2016年	1月	研究支援員配置制度の試験的導入
	2月	シンポジウム「医師・研究者の働きやすい環境づくりに向けて～日本医科大学の在り方」開催
	7月	女性医師・研究者懇親会開催
2017年	2月	講演会「続けようキャリア、育てよう自分らしく～「あなた」の活躍を応援する組織と社会の大きな力」開催
	4月	ベビーシッター派遣病児保育支援事業の定員を5名から40名に増員
	6月	学内併設保育所の状況聴き取り会開催
	12月	講演会「女性医師・研究者が質の高い研究活動を継続するための多様な働き方と支援体制」開催
2018年	12月	講演会「医師・獣医師・研究者の働き方改革」開催
2019年	4月	しあわせキャリア支援センター設立
	9月	2019年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)採択
	10月	One Health実行委員会設置

2019年	12月	ワーク・ライフ・バランスに関わるアンケート調査実施（第1回）
2020年	3月	Newsletter「One Health」創刊号発行、One Healthウェブサイト開設
		ダイバーシティ環境推進の動画公開
2021年	3月	冊子「あなたのキャリアを応援する11の方法」発行
2021年	6月	ワーク・ライフ・バランスに関わるアンケート調査実施（第2回）
	10月	女性研究者キャリア継続のためのクラウドファンディング実施
2022年	9月	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）採択

日本医科学大学

2017年	4月	短時間勤務女性医師任用制度運用開始
2020年	5月	短時間勤務女性医師任用制度の対象を中学校就学の始期に達するまでの子を養育する医師に拡大
	10月	短時間勤務女性医師任用制度利用者のキャリア継続支援開始
	11月	洗足学園高校でのキャリア教育講演実施
2021年	9月	日本医科大学武蔵小杉病院内に病児保育室を設置
2022年	4月	短時間勤務女性医師任用制度の対象を遠隔勤務（自宅での時短勤務）に拡大
	12月	東京都女性活躍推進大賞優秀賞を受賞

日本獣医生命科学大学

2012年	4月	学長諮問の女子学生対応委員会を設置
2017年	4月	男女共同参画推進委員会の設置 第1回「男女共同参画に対する実態と意識調査」を実施
	11月	学生向け男女共同参画推進についての講演会開催
	12月	教職員向け講演会開催
2018年		2017年度実施アンケート結果の分析をもとに学長への答申作成
	12月	学生向けワーク・ライフ・バランスの実際に関するランチ講演開催
2019年	4月	男女共同参画推進委員会からダイバーシティ推進委員会へ改組
2020年	3月	日本獣医生命科学大学教員インタビュー集発行
2022年	3月	冊子「ダイバーシティのさらなる推進と目標達成のために」発行

2022・2023事業取組実施表

2022年度		
実施日	内容	実施機関
10月24日	第1回OneHealth実行委員会開催	医 獣
12月9日	第2回OneHealth実行委員会開催	医 獣
11月21日	令和5年度女性研究者研究費制度開始	医
11月26日	三鷹ネットワーク大学での企画講座開催 — 2023/2/19	獣
12月7日	2022年度女性研究者研究費制度開始	獣
12月13日	イクボスワークショップin武蔵小杉開催	医 獣
12月13日	5年後キャリアサポート制度(2023年度キャリアアップ支援)公募開始	獣
12月19日	第3回OneHealth実行委員会開催	医 獣
1月20日	IKUBOSSPRESS Vol.5発行	医 獣
1月20日	イクボスワークショップin多摩永山開催	医 獣
1月26日	第4回OneHealth実行委員会開催	医 獣
2月1日	女性リーダー育成型事業啓発リーフレットとポスター作成	獣
2月6日	イクボスセミナーin付属病院開催	医 獣
2月7日	イクボスワークショップin千葉北総開催	医 獣
2月13日	大型研究費獲得に向けたセミナー開催	医 獣
2月20日	5年後キャリアサポート制度公募開始	医
3月1日	令和5年度女性研究者研究費支援公募開始	医
3月3日	学長と女性教員の意見交換会開催	獣
3月13日	IKUBOSSPRESS Vol.6発行	医 獣
3月23日	イクボスワークショップin武蔵境開催	医 獣
3月31日	女性リーダー育成型事業紹介動画公開	医 獣
3月31日	女性リーダー育成型紹介リーフレット発行	医 獣
3月31日	ダイバーシティ事業ウェブサイトリニューアル運用開始	医 獣
2023年度		
実施日	内容	実施機関
4月26日	第1回OneHealth実行委員会開催	医 獣
5月12日	IKUBOSSPRESS Vol.7発行	医 獣
5月13日	5年後キャリアサポート制度キックオフミーティング開催	医
5月23日	令和5年度大学院女性フェロシップ制度利用希望者募集開始	医

5月23日	第2回OneHealth実行委員会開催	医 獣
5月25日	令和5年度国際学会発表助成制度利用希望者募集開始	医
6月1日	2023年度論文投稿費用助成制度開始	獣
6月1日	2023年度研究費(キャリアアップ)支援開始	獣
6月1日	2023年度研究費(研究力強化)支援開始	獣
6月6日	女性リーダー育成型キックオフシンポジウム開催	医 獣
6月19日	令和5年度女性研究者研究費支援開始	医
6月20日	2023年度研究費(5年後キャリアサポート制度)公募開始	獣
6月20日	2023年度研究費(研究力強化)公募開始	獣
7月10日	第3回OneHealth実行委員会開催	医 獣
7月26日	研究スキルアップリサーチカフェ開催	医
7月27日	令和5年度女性研究者海外研修助成制度(ダイバーシティ支援)利用希望者募集開始	医
8月1日	2023年度国際学会発表助成制度開始	獣
8月8日	Newsletter Vol.8発行	医 獣
8月22日	URA研究戦略マネジメント勉強会開催	医 獣
9月1日	第4回OneHealth実行委員会開催	医 獣
9月27日	令和6年度女性研究者海外研修助成制度(ダイバーシティ支援)利用希望者募集開始	医
9月27日	妊娠・出産、育児とともに働く制度を紹介する動画公開	医 獣
10月4日	2022年度ダイバーシティ研究助成発表会開催	獣
10月6日	共同研究促進プログラム開始	獣
10月10日	令和5年度リーダー育成プログラム利用希望者募集開始	医
10月18日	第5回OneHealth実行委員会開催	医 獣
10月18日	2023年度研究費(5年後キャリアサポート制度)支援開始	獣
10月18日	2023年度研究費(研究力強化)支援開始	獣
12月7日	第6回OneHealth実行委員会開催	医 獣
1月15日	Newsletter Vol.9発行	医 獣
2月8日	研究スキルアップセミナー開催	医
2月20日	女性リーダー育成セミナー開催	獣
3月4日	西ゆり子氏講演会&ワークショップ開催	医
3月18日	妊活とキャリアを考えるセミナー開催	医
3月31日	ライブイベントとともに働くー妊娠・出産、育児編ー 冊子発行	医

2022・2023年度 事業報告書

事業期間 2022—2027



DIVERSITY +
INCLUSION

ダイバーシティ&インクルージョン

即効性と継続性のある 女性・若手研究者の活躍推進に向かって 飛躍的な女性上位職登用に挑む

2024年3月31日発行

代表機関 日本医科大学 共同実施機関 日本獣医生命科学大学
編集・発行 学校法人日本医科大学 しあわせキャリア支援センター
〒113-8602 文京区千駄木1-1-5
TEL 03-3822-2131

<https://www.one-health.jp>